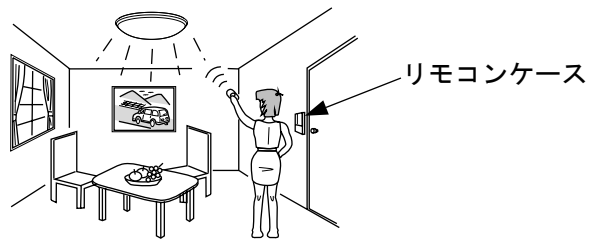


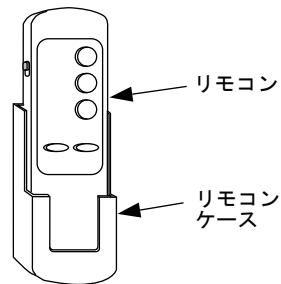
リモコンケースの使いかた

- リモコンをなくさないように、リモコンの置き場所として壁などにリモコンケースを取り付けてご使用ください。



リモコンを使用するときは、リモコンケースから取り出し、器具に向けて操作してください。

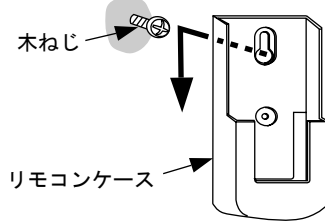
使用状態



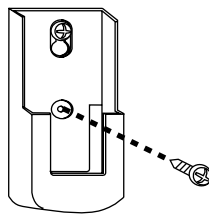
- リモコンケースの取り付け場所は部屋の出入り口付近が便利です。

リモコンケースの取り付けかた

- ①リモコンケースの位置を決め、付属の木ねじ1本を壁面に仮止めし、リモコンケースをひっかけてください。



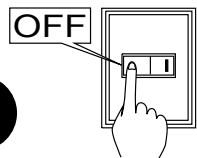
- ②2本目の木ねじをねじ込み両方の木ねじでしっかり固定してください。



保守とお手入れ 常に明るくご使用いただくために定期的にお手入れをしてください。

- お手入れの際や、蛍光ランプなどの交換の際は、必ず電源を切る。

- *電源を切らないと感電の原因となります。



必ず守る

■器具のお手入れ



必ず守る

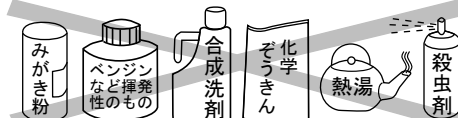
- 器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落とす。汚れが落ちない場合は、柔らかい布に石けん水を浸して、よくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げる。
- *石けんとは天然油脂を原料としたものです。(商品表示が“石けん”であることを確認してください。)

■みがき粉・ベンジン・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり熱湯や殺虫剤をかけない。



禁止

- *割れ、傷、変色および落下によるけがの原因となります。



■蛍光ランプの交換時期について

- 口金付近が全周にわたって黒ずみ明るさが低下しましたら寿命ですので、新しい蛍光ランプとお取り替えください。

- なお、調光で点灯した場合、比較的早い時期に黒い斑点が発生することがありますが、所定のランプ照度や寿命性能は満足しますので、そのままご使用ください。

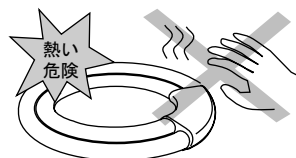
■蛍光ランプ取り扱い上のご注意

- 点灯中および消灯直後は、ランプが熱くなっているので、触らない。



接触禁止

- *やけどの原因となります。



- ランプホルダーをランプに強く当てない。



禁止

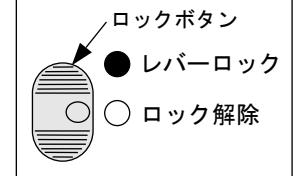
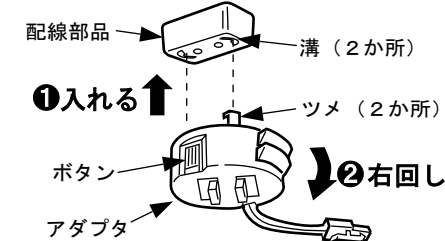
- *ランプが破損し、けがの原因となります。



器具の取り付けかた

1. アダプタの取り付け 電源を切ってください。(壁スイッチを **OFF** にしてください。)

- ①配線部品(引掛シーリングボディなど)の溝にアダプタのツメを入れ、右方向にいっぱいまで回してください。(ロックが掛かり固定されます。)
- ②ロックボタンが「ロック解除」の位置になっていることを確認してください。



取り付け後、ボタンを押さずに左方向に回し、はずれないことを確認する。

- 必ず守る *取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

アダプタのはずしかた

ボタンを押しながら左方向へ回してください。

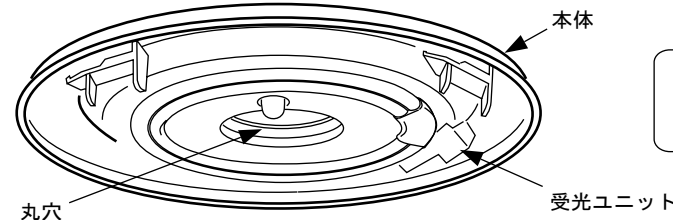
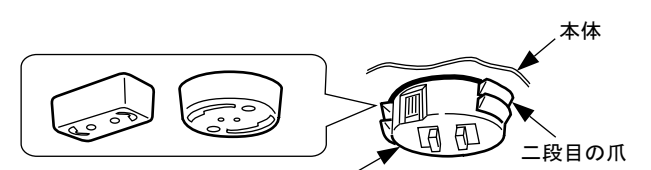
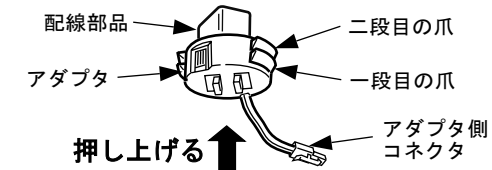
2. 本体の取り付け

- ①リモコンをひんぱんに操作する方向に受光ユニットが向くように本体を合わせ、アダプタ側コネクタを本体の丸穴に通し、丸穴をアダプタに合わせて本体を天井に強く押し上げてください。

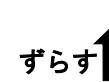


天井に付いている配線部品により、本体に掛かる爪の位置が変わるので必ず下図を参照し、適切な爪(両側2ヶ所)が本体に掛かっていることを確認する。

- 必ず守る *取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。



- ②アダプタのロックボタンを「レバーロック」の位置にしてください。

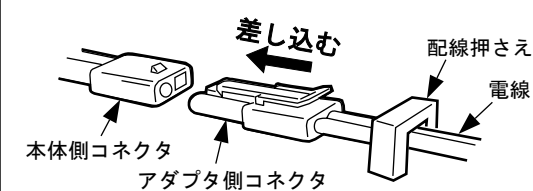


必ず守る

●レバーロック

○ロック解除

- ③アダプタ側コネクタと本体側コネクタを接続し、電線がたるんでいる場合は、電線を配線押さえに引っ掛けてください。



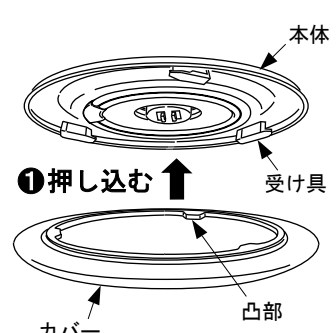
禁止

コネクタや電線をむりやり引っ掛けない。

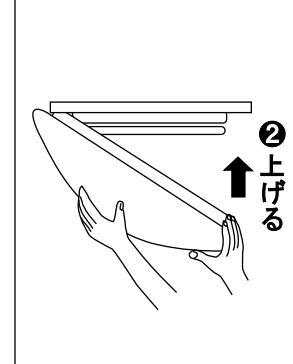
- *電線が断線し、感電、故障の原因となります。

3. カバーの取り付け

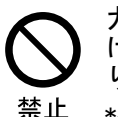
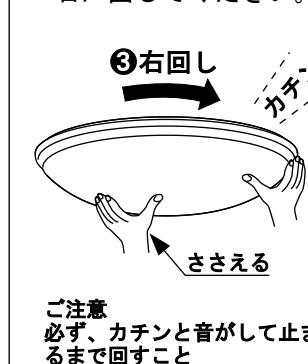
- ①カバー凸部を本体の受け具と受け具の間に合わせて、押し込んでください。



- ②反対側を押し上げてください。



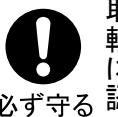
- ③中央をささえながら右に回してください。



禁止

カバーを正しく取り付け後は、カバーをむりやり回さない。

- *器具の破損、落下によるけがの原因となります。



必ず守る

取り付け後、カバーを軽く下にひっぱり確実に取り付けられているか確認する。

- *取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。